

「自分の思いを自分の言葉で伝えることのできる児童をめざして」 ～書く活動の指導の充実と学びの場づくりを通して～

I 研究の内容

1 研究の具体的内容

- ・「自分の思いを自分の言葉で伝えることのできる児童をめざして」、理論研究と「書く活動」と「学びの場」の具体的な取り組みについて
- ・指導主事を招聘しての学習会 「学びの場」のあり方
- ・特別支援教育の推進

2 研究の具体的方法

- ・基本的には、一人一回、授業を公開する。そのうち、低・高1本ずつは共同研究とし、ブロックごとに事前に検討会をもち、その後全体会で検討する。その他の学年は、授業を公開し、事後研究会を全員で行う。
- ・研究授業は、共通の視点【自分の思いを自分の言葉で伝えることのできる児童】をめざし、書く場面とお互いの考えを交流して学び合う場面を入れた実践を行う。
- ・年度初めに、児童の国語に関する実態調査を行う。その結果に基づき、児童の「自分の思いを伝える力」の向上のために取り組むことを学校体制で確認し、年間を通して実施していく。年度末に児童の変容を見取り、1年間の取り組みの反省を行う。
- ・「話すこと・聞くこと」について、教師がチェックシートを用いて、学期ごとに児童の実態を見つめ、日々の実践を振り返る。
- ・一人ひとりを大切にしたい指導や工夫した学習環境をするために、学び合い、共通理解して全校で取り組む。

3 「書く力」を伸ばすための取り組み

- ☆言葉で考え、伝え合うために、「児童に使わせたい言葉」（低学年用・高学年用）を学習活動や学校生活の中で、児童に身につけさせていく。
- ☆自分の考えを明らかにして、その根拠を伝える活動の実践について、各学年でどんな取り組みをしたかを確認し、課題については、来年度に活かす。

4 「学びの場」づくりの取り組み

- ☆指導主事を招いて、「学びの場」について理論研究をしたり、本校としての「話す・聞く」活動を中心とした「学び」の流れを確認したりする。
- ☆様々な場面における「学びの場」のあり方を検討し、実践する。

5 「自分の思いを自分の言葉で伝えることのできる児童をめざして」の日常的取り組み

☆全校集会など、全校で集まるとき

- 挨拶は、号令なしで、相手の動きに合わせて行う。（話す人を見る習慣作り）
- 集会などの際、児童の気持ちを聞く場面をできるだけ作る。（人前で話す場作り）
- 発表のときは、できるだけ紙を見ないようにする。（聞く人を意識させる習慣作り）

☆各学年の教室で

- 学習のルールを決める。
- 朝の会か帰りの会で、スピーチの時間をつくる。

○教師対児童の会話のやりとりだけでなく、児童同士の会話ができるような機会を取り入れる。(話し合い活動や相互指名などの方法も学ぶ。)

☆読書活動を推進する。

○おすすめの本20冊の継続

○読書の宿題を出すなど読書の時間の確保と読み聞かせの時間の確保

○1週間に1回図書室で本を借りて読む。

○家庭で家の人と一緒に読書をする「なかよし読書」の取り組み。

☆合唱づくりからも学級づくりを進める。

○月の歌を決めて、全校で取り組み、その成果を毎月1学年ずつ、発表する。

6 特別支援教育について

- ・特別支援教育コーディネーターが中心になり、全教職員で教室の環境を整えたり、授業の進め方について学び合ったりする。

II 成果と課題

1 成果

- ・研究主題は本校の児童の実態を踏まえ、具体的な児童像を明確にした主題設定で、よかった。
- ・「書くこと」によって、自分の思いや考えを整理し、根拠を伝えようと物事をじっくり深く捉えようとする習慣が身についてきた。
- ・いろいろな学習場面で「学びの場」を設定し、授業を工夫することで、子どもたちが、自分の思いや考えを自分の言葉で伝えたりすることができるようになってきた。また、子どもの主体的な学びを保障する意識が教職員に高まった。
- ・「児童に使わせたい言葉」、「話すときの約束」、「聞くときの約束」、「声のものさし」を教室に掲示できたことは、日々の学習活動に活かすことができてよかった。
- ・特別支援教育は学校全体で行うことであり、普通学級を指導する上でも大切であると感じた。

2 課題

- ・授業実践において、一人一実践の授業は成果があるが、一人ひとりの実践が個々のものになってしまっている。改善点を次の授業実践で改善していくというようにすると、それぞれの授業実践や共同研究がつながりをもち、研究を深めていく一つの手だてになる。
- ・「学びの場」づくりの工夫と連動して、「書く活動」をどう展開していけば、児童にとってより有効なのか、踏み込んだ研究が、今後の課題である。

III 成果物

- 1 第1学年 国語科授業案 「知らせたいな、見せたいな」
- 2 第2学年 国語科授業案 「黄色いバケツ」
- 3 第3学年 国語科授業案 「物語を書こう」【低学年ブロック共同研究】
- 4 第4学年 国語科授業案 「忘れもの／ぼくは川」
- 5 第5学年 国語科授業案 「すいせんします」
- 6 第6学年 国語科授業案 「この絵、わたしはこう見る」【高学年ブロック共同研究】
- 7 ひまわり学級 算数科授業案 「買い物ごっこをしよう」

(研究主任 高野 恵美子)